

## アカデミックフェス 事後レポート

企画名：第一部 世界の中の日本サッカー

第二部 サッカーとエスニシティ

企画名（英語）：Session1: Japanese Football on the World Stage

Session2: Football and Ethnicity

時間：16：30～18：30

会場：アカデミーコモン 9F 309B 教室

登壇者：・土屋恵一郎（明治大学学長）

- ・田嶋幸三（日本サッカー協会会場）
- ・二宮清純（スポーツジャーナリスト）
- ・鈴木哲也（明治大学法学部教授）
- ・山岸智子（明治大学政治経済学部教授）
- ・陣野俊史（明治大学文学部兼任講師）
- ・張寿山（明治大学）
- ・栗田大輔（明治大学サッカー部監督）

### 開催概要：

第一部の「世界の中の日本サッカー」では、2018年に開催されたロシア・ワールドカップでのサッカー日本代表の躍進の要因や、現在のサッカー日本代表の取り組みと課題などについて議論した。

第二部の「サッカーとエスニシティ」では、グローバル社会における国家・民族・地域の問題を、ムバペ選手、エジル選手、鄭大世選手らにスポットを当てながら議論した。

### 開催概要（英語）：

In Session 1 “Japanese Football on the World Stage,” we discussed the factors behind the leap in performance of the Japan football team at the 2018 Russia World Cup, and what efforts and challenges are being made and undertaken by the current Japan football team.

In Session 2, “Football and Ethnicity,” the focus is on the international players Kylian Mbappé, Mesut Özil, and Jong Tae-se in a discussion on issues concerning nationality, ethnicity and region.

### 開催内容：

第一部「世界の中の日本サッカー」。

司会の張寿山氏による登壇者の紹介に続いて、土屋恵一郎学長からアカデミッ

クフェスの趣旨と、明治大学サッカー部の取り組みなどについてご説明いただいた。栗田大輔明大サッカー部監督からは、大学サッカーリーグにおける明大サッカー部の位置付について説明があった。二宮清純氏からは、日本代表の歴史を振り返りながら、はじめての外国人監督となったハンス・オフト氏や日本代表をベスト 8 に導いたフィリップ・トルシエ監督らの功績が紹介され、その時の選手の能力に相応しい監督を選ぶことの重要性が指摘された。その意味において、現在の日本代表監督の選出が適切であるという見解が示された。田嶋幸三氏には、ワールドカップでのサッカー日本代表の活躍や日本サッカー協会の取り組みについて説明していただいた。サッカー日本代表が多くの大会でフェアプレー賞を獲得してきたのは、日本サッカー協会のミッション・ステートメントが達成されているからであり、ロシア・ワールドカップの大会直前での監督交代も、多様なかたちで報道されはしたが、しっかりと熟慮し、自信をもって決断した選択であったことが明かされた。

## 第二部「サッカーとエスニシティ」。

陣野俊史氏からは、現代の民族問題におけるサッカーの可能性について報告があった。フランスのナショナリズムが声高に叫ばれるなかで、ムバペ選手のような異なる民族性をもつサッカー選手の活躍は、たとえそれが一瞬であったとしても、ナショナリズムの高揚をかき消すことができるという見解が示された。山岸智子氏は、トルコ系ドイツ人のエジル選手の問題を取り上げ、ワールドカップの大会前にトルコの大統領を訪問したエジル選手に対して、ドイツ人からの批判だけではなく、ドイツ生まれでありながらトルコ代表として出場してるクルド人選手たちからも批判の声があがっていた事実が紹介され、今日の民族問題には「国民国家」「多民族国家」「グローバル化」という三重の構造があることが指摘された。鈴木哲也氏からは、日本・朝鮮・韓国と複数のカテゴリーを生きている鄭大世選手の事例が紹介され、ひとつのアイデンティティに押し込めようとする国家という制度がもつ暴力性が指摘された。以上の三氏の報告とフロアからの質疑応答を通じて、ナショナリズムとグローバリズムが輻輳している現代社会の問題に関する思索を深めることができたように思う。

なお会場には、約 130 名の参加があった。

以 上